



撮影：大野彰久 83年卒 Ob

東京六甲室内管弦楽団は、103年の歴史を持つ神戸大学交響楽団の卒業生とその家族を中心に  
2017年に創設された室内管弦楽団です。

メンバー1人ひとりが培ってきた音楽表現を大事にしながら、  
美しく調和のとれたアンサンブルを目指します。

ひとつの作品をより深く追求しオーケストラが主体となって  
音楽を作り上げて行きたいと考える、新しい形の室内管弦楽団です。

## ヴァイオリン 前田知加子



神戸大学1985年卒業。ハートフォード大学音楽学部大学院  
ヴァイオリン演奏科グラジュエイト・プロフェッショナル・ディプロマ卒業。  
4歳よりヴァイオリンを東儀祐二氏、鷺見三郎氏に師事。同時に相愛大学音楽教室にて  
聴音・ソルフェージュの指導を受ける。  
その後、林泉氏、中山良夫氏、エマーソン弦楽四重奏団のユージン・ドラッカー氏に師事。  
ジュリアード音楽院で指揮法をヴィンセント・ラ・セルバ氏に師事。  
ニューヨーク、ハートフォード、グリニッジにて、ヴァイオリンリサイタルを開催。  
相愛オーケストラ、神戸大学交響楽団、芦屋交響楽団、ハート交響楽団、新交響楽団、  
オーケストラ・ニッポニカ、東京六甲フィルハーモニーオーケストラ、  
東京六甲室内管弦楽団にて、ヴァイオリン奏者、コンサートマスターなどを務める。  
グリニッジ交響楽団団員。  
東京六甲フィルハーモニーオーケストラと2014年より、メンデルスゾーン、ブルッフ、  
チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲を演奏。  
2018年東京六甲室内管弦楽団とベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲を演奏。  
「オペラの名曲」、「銀幕のクラシック」など地域に密着したソロ演奏。  
2018年アンサンブル・ヴィーノとゴープランド、ストラヴィンスキーなど室内楽を演奏する。  
三鷹、吉祥寺、立川でヴァイオリン、オーケストラの指導を行う。  
三鷹ヴァイオリンの会主宰。宮地楽器講師。音楽コンクールヴァイオリン審査員。

## アクセス

### バス

JR三鷹駅南口4・5番バス乗り場から3つ目  
「八幡前・芸術文化センター」下車すぐ。  
または、6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。

### 徒歩

三鷹駅南口より徒歩約15分。

